

News 近畿圏広域地方計画 ニュース 2008.3 vol.5

近畿の未来を見つめて、新しい地域づくりを考える



国土交通省 近畿地方整備局

近畿圏広域地方計画推進室
TEL. 06-6942-1141(代)

こちらのページでは近畿の新しい未来への思いを各界の著名な方々が語るリレーメッセージをご紹介します。毎回、近畿の魅力、近畿広域地方計画に寄せる期待など、近畿にまつわる話題やご意見を各人が自由に語るという連載企画です。

第2回は兵庫県出身の小説家、玉岡かおるさん（近畿圏広域地方計画学識者会議委員）の登場です。

歴史に学ぶ 未来の近畿

昨年末に4年がかりの長編小説『お家さん』（新潮社）を上梓した。

これは、関西を舞台とした私の作品テーマの一環で、明治から昭和初期、日本一の年商を挙げた実在の商社、鈴木商店を描いたものだ。

当初、なぜ東京や大阪ではなく、神戸という、関西の新開の町を拠点にこのような巨大な商社が出現し、日本の経済界の頂点に立ったか不思議でならなかった。なにしろ三井物産や三菱商事という藩閥をバックにした先発商社をだしぬいて、当時の国家予算をも上回る額の稼ぎをばじき出したばかりか、その傘下には50以上の関連会社が連なり、そこで働く従業員数だけでも数万人。神戸を日本第二の人口を擁する工業都市にまで育て上げた立て役者がこの鈴木商店なのである。

書き進むにつれて謎は解けた。それは、ズバリ、神戸港という国際港の賜物であった。明治になって、この地が外国に向けて門戸を開いた交流軸となったのはご存じのとおりだが、都市が繁栄するにはさらに、さかんに参集する物流をささえるエネルギーと、そしてそこに生きる人々の生命をつなぐ食料が要る。明治以前の神戸には欠けていたこれら3条件が、文明の力によってうちそろう。すなわち、①国際港、そして鉄道という交流軸。そして、②エネルギー、③食料という諸条件は、これら交流軸を用いて、彼ら商社みずからが整えてしまった。

単に物流をこなすだけではない。その地に産業を興し、全国から流入する労働



小説家

たまおか

玉岡 かおるさん

略歴

2年間中学教諭を務めた後、昭和62年「夢食い魚のブルー・グッドバイ」で受賞し、作家デビュー。テレビのコメンテーターとしても活躍。

また、日本河川協会理事、先端医療財団生命倫理委員、兵庫県図書館協議会委員、兵庫県土整備部公共事業等審査会委員、サンテレビジョン番組審議会委員ほか、行政等の委員会で御意見番としても参加する。2007年4月より近畿圏広域地方計画学識者会議委員を務める。

受賞歴/ノン・ノンフィクション大賞（昭和58年）；神戸文学賞（昭和62年）「夢食い魚のブルー・グッドバイ」；及川記念奨励賞（平成2年）；加古川市特別文化賞（平成12年）

人口を定着させることで町に活力という大輪の花を咲かせたのである。神戸製鋼所や播磨造船など、鈴木商店が育てた基幹産業がそれである。

今の神戸、いや関西全体が元気がない、とよく嘆きを耳にする。しかし、この地がもっとも栄えた時代にたちもどれば、彼らの時代にはあって、今の時代に足りないものがいったい何か、鮮やかに見えてくるはずだ。

おかげさまで、この書がたちまち重版となり、五度六度と増刷を重ねて多くの人に読まれているのは、おそらく、息詰まった現代やこの先にはない大きなヒントを、読者が鋭くかぎ取ってくれているからに違いない。

ただのノスタルジーや物見遊山で流動的に人間をかき集めるだけでは、真の都市の活気は生まれえない。いかにこの地を愛して定着し、誇りを持ってふるさととするか。ぜひこの書でヒントをみつけてほしいと願うとともに、今、練り上げられている近畿圏広域地方計画にも、これら歴史が伝える成功に学び、力強い未来図を描いてもらえることを期待している。



近畿圏の目指す姿

①歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育てる圏域

②首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核

③アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点

④人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

⑤都市の魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域

⑥人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域

⑦暮らし・産業を支える災害に強い安全・安心圏域

近畿圏の目指す姿のご紹介

前回に引き続き、近畿が実現を目指す7本柱「近畿圏の目指す姿」をシリーズでご紹介。今回は2回目、日本の中心核となる近畿のポテンシャルについてご説明します。

目指す姿 ② 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核

近畿圏は古くから日本の経済を牽引し、様々な産業が発展してきた地域です。現在も個性豊かな地域がそれぞれ独自に力を持ち、人口、経済力、情報、知的財産など強大な集積があります。このような地域ポテンシャルを基盤に圏域の連携を強化することで、総合力を発揮して、産業・経済の発展、豊かな暮らしを実現します。また、多様で厚みのある文化の集積を活かし、「文化首都」としての地位も確立させ、首都圏とは異なるもう一つの中心核を目指します。さらに、非常時には首都圏のバックアップを担う圏域となります。

Case Study 中心核の一翼を担うポテンシャル

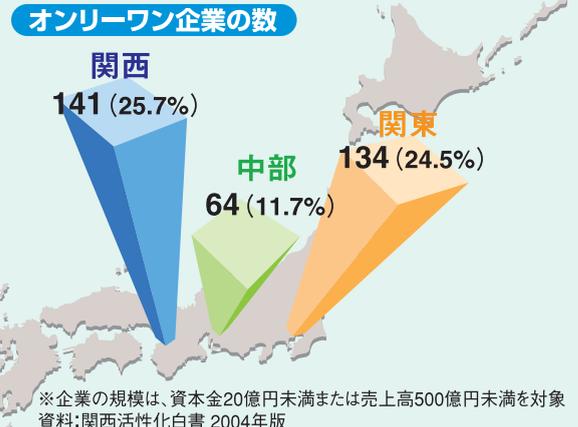
● 個性豊かな地域特性と連携強化

個性豊かな各地域が持つ多様な産業・文化・研究機関等のポテンシャルが、相互に結びつくことで、連携強化が図られ、圏域全体で経済的な総合力が高まっています。



● 多様な産業・オンリーワン企業

近畿圏には、関西初を生み出す、規模は小さくても他社と差別化できる独自技術をもった「オンリーワン企業」が多く、ものづくりを基盤とする先端産業・素材産業が集積しています。



Case Study 首都圏のバックアップ

● 金融・通信などの中枢機能の整備

自然災害や有事などの非常時に、金融・通信などの中枢機能を継続するための体制を整え、素早い復旧・復興、世界経済への影響などを回避。首都圏をバックアップし、わが国の国家機能、経済機能の停滞を防ぎます。



近畿が変わります Revive KINKI

近畿圏広域計画検討会議が、以下の機関で構成されています。

- <府 県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 岡山県 徳島県
- <指 定 都 市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市
- <市 町 村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会
- <経 済 団 体 等> (社)関西経済連合会 大阪商工会議所 (社)関西経済同友会 関西経営者協会 京都商工会議所 神戸商工会議所 堺商工会議所 関西広域機構
- <国の地方支分部局> 警察庁近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理局 経済産業省近畿経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監理部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所

● ホームページでさらに詳しい情報を提供しています。

国土形成計画 近畿圏広域地方計画
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

アクセスは、検索サイトから

近畿圏広域地方計画

検索